

ほめかたとストーリー

韓国での仕事、韓国語がわからず

通訳がうまく、仕事のよしよしは通訳1だい

この時の通訳は、上ゲル教育の互目感情のあ

り人、ある公演のこと、こゝはどなたで

すかとやくと朝鮮戦争の時、大臣との、フフ

いこの言葉は、秀吉の孫、行った宝物は、リ

かえすんで、おかし私、すぐ、~~韓~~云々「君にさ

て、今、い、こんな通訳とソウルから南の玉環

途の仕事をした

片々有通訳と

最初がソウルでの任職の自で見たニが耳

できいたという事が正しいかという事で

左でよこ回すの三角形をかいてもらうた

人をそのりて不正確、その一人は子とぞ知

たが必朝鮮戦争の抑船(抑)をいれたとのこ

と、そのは知らずにいざぬたかな

かニが持る方はいまんとほめた

それから次に南に日本補人行った時的主

催者は正確にたてよこ書いた人だ？た日本

# ストーリー

3

僕はなせるその人は親友だった

私が昔末彌にいたこともありかまらなかった

小学後へも案内してくれた校長室の方へと

その新製糸スヒナフタリニが入れられ物カク

よろきちんと立っていった

かつての日本人の商店街へ行って来た

人かげがない一軒人店らしいビルだった電気

やさんには活しかけられる競争中大変だった

しあがりたはここに手が来たんであまし日本控

9はなせる半年の人達がどのまじ殺されるか

# ストーリー

4

私と思っていた。口々に朝鮮戦争の時が来た  
する。第三次世界大戦は否んと存かた。と  
の。いと。何れホフとす。  
韓国での仕事は終りし。はらう。た。ころ。警備隊の  
人が市橋さん。この人がさが。一。二。三。と。木  
の。主催者をつれ。また。  
日本での仕事はあつ。て。来た。り。か。と。思。つ。た。か。  
私に。あ。い。た。ま。左。と。言。う。人。々。と。困。り。婦。に。電。信  
を。あ。ら。う。と。は。か。く。上。野。迄。つ。れ。て。い。ら。う。し。や。い。ろ。の  
言葉。に。す。く。わ。れ。上。野。を。公。存。す。婦。に。あ。い。せ。る。

上野で韓国料理で食事をして宿泊の予約を

とれた。それと助かったと家へかえる。

次の朝六時ごろから午前九時になる。玄園に例

の習がさうしていまして、今日は大阪で仕事かかると

言うところについて来て会場のすきでまいている

仕事が終わる、原急いこのチャライン、その男は

チャライン、それ、さうして、さくどアをたたく、ドアを

けてといる。明朝八時、チャライン、アウト、あそび

なだめ、<sup>さくど</sup>明朝七時、<sup>チャライン</sup>チャライン、次の仕事、<sup>あそび</sup>あそびの

車へ行つた。それで大丈夫と突たかえる。

るす電と「先をうろついでと入っていき

そしてそむなく大きな荷物をもつてやっ

た青磁のつぼニケ、トラの掛軸じく「同と芥

さりぬのラブシーのバスオールド半枚ふゆ

~~だ~~とさう困った、困ったとにふく一命

かえつてもうた

私の片やかたが思かたの

そのころスロカーとリウ言葉はるわいたが

利の仕事の中び一大失敗だいた